

TRAIL



大阪府教育センター附属高等学校 校長通信 No. 6 令和8年9月発行

先日、テレビで警察官が空に向かって威嚇射撃をしたというニュースを見ました。

このニュースを見て、みなさんなら何が気になると思いますか。

「警察官はどんな判断をしたのだろう」「威嚇射撃の法的な根拠は?」「人権のことを知りたい」

きっと、人によって気になることは違うと思います。

私が気になったのは、少し違うことでした。

「空に向かって撃たれた弾は、そのあとどうなるんだろう」

調べてみると、弾は重力の影響を受けて地上に落ちてくるとのこと。

だから、威嚇射撃をするときには、周囲の安全を確認することが必要なんだとか。

同じニュースを見ても、心が動く場所は人それぞれです。だからこそ、世界の見え方も一人ひとり違います。

誰かが気づいたことに耳を傾けると、**自分にはなかった見方に出会える**ことがあります。

逆に、自分が気になったことを調べてみると、**誰かにとって新しい発見になる**こともあります。

違うことは、間違いではありません。その**違いが、新しい学びの種**になります。

最後は、「私の本棚」のコーナーです。

「このタイトル、どういう意味？」から始まる本でした。



～ 私の本棚 ～

本と向き合った時間・記録はあなただけの大切な財産です。

1冊1冊との出逢いを大切にしましょう。

冊数	出逢った日	本のタイトル	著者
6	8/1	逆ソクラテス	伊坂幸太郎
		感じたこと・考えたこと・覚えていたいこと	
		逆ソクラテスとは「無知の知」の逆で、 自分はすべて知っている、わかっているという思い込み 先入観を持たないことは難しいけど、自分の中にも「逆ソクラテス」が いるかもしれないと思うだけでも、世界の見え方は変わってくる	